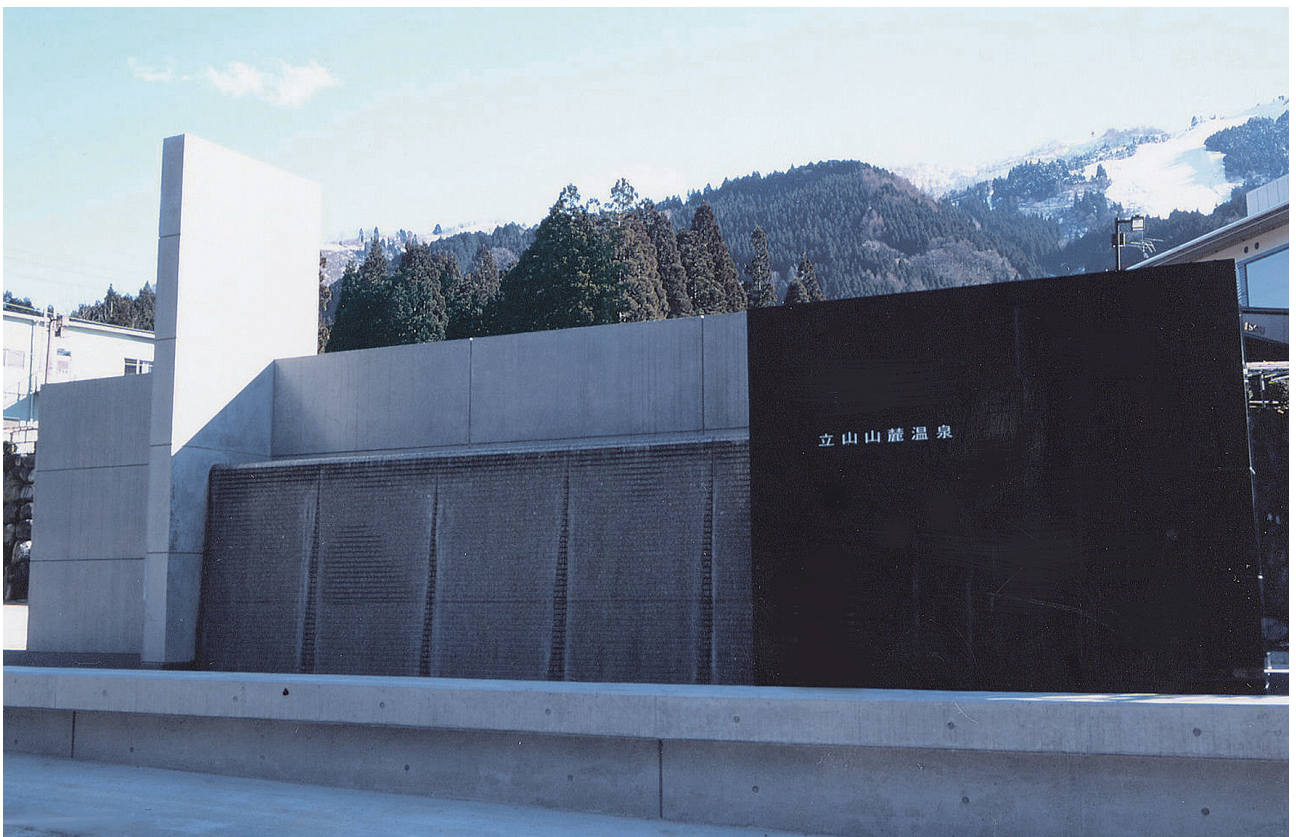


立山山麓温泉二十年史

立山山麓温泉開発株式会社

立山山麓温泉二十年史



平成29年12月7日

立山山麓温泉開発株式会社



平成10年4月2日 安全祈願祭



平成10年4月2日 挨拶を述べる高尾昌明初代社長



玉串奉奠の高尾社長



井戸にお神酒を捧げる高尾社長



水質・温度検査の様子



後方で取材を受ける高尾社長



平成12年12月20日 モニュメントの除幕式テープカット



モニュメント除幕式の参列者



平成12年12月20日 挨拶を述べる平本芳光二代目社長



工事関係者への感謝状贈呈

目 次

❧立山山麓温泉20年史の発刊にあたり

立山山麓温泉開発株式会社	社長	高尾 道明	1
❧創立20周年に寄せて	富山市長	森 雅志	2
❧祝 辞	富山市観光協会	会長 高木 繁雄	3
❧創立20周年にあたって	富山市南商工会	会長 梅本 良男	4
❧祝 辞	大山観光開発株式会社	社長 谷村 豊彦	5
❧祝 辞	立山山麓観光旅館組合	組合長 高尾 藤弘	6

歴 代 役 員	7
---------	---

発 起 人	8
-------	---

立山山麓温泉開発株式会社の歩み	9
-----------------	---

- ・第1章 操業前史（平成7年～ 温泉観光地への組織作り） 9
- ・第2章 候補地の模索（平成8年～ 温泉地調査に関する話し合い） 10
- ・第3章 試行錯誤から歓喜へ（平成9年～ 温泉の掘削と湧出） 11
- ・第4章 資金面への提案
（平成10年～11年 富山国体、グリーンビュー立山の加入と高尾社長の急逝） 13
- ・第5章 工事や施設の不安（平成12年～17年 度重なる設備の故障） 14
- ・第6章 通過型観光地から滞在型の観光地へ
（平成18年～28年 市町村合併・スキー客の減少・これからの課題） 15

資 料 1	17
-------	----

- ・立山山麓温泉開発株式会社 年表 17
- ・温泉掘削から温泉湧出までの作業工程 29
- ・立山山麓温泉開発株式会社 役員名簿・総会一覧 33
- ・工事概要 35
- ・温泉掘削ポイント位置図 36
- ・富山県地質図 37
- ・温度検層結果表 42
- ・温泉分析表 43
- ・温泉分析書別表 45

• 売上金額と湯量の推移	47
• 立山山麓温泉 動水位変移表	48
• 立山山麓温泉ポンプ・ドライブヘッド図	49
資 料 2	51
• 設備メンテナンス・修理の様子	51
• 温泉湧出当時の新聞記事	52
立山山麓温泉開発株式会社定款	53
立山山麓温泉給湯規程	57
温泉供給細則	59
立山山麓温泉開発株式会社 株主名簿	60
立山山麓温泉配湯宿の紹介	61
編 集 後 記	64
参考文献・資料・写真提供、協力・編集者名簿	65

立山山麓温泉20年史の発刊にあたり



立山山麓温泉開発株式会社

代表取締役社長 高尾道明

この度弊社がめでたく創立20年を迎えることができましたのも、ひとえに旧大山町（現富山市）、富山県市町村職員共済組合（グリーンビュー立山）をはじめ、出資を賜った株主の皆様方、各金融機関、各協力会社、関係各位のご支援の賜物ところから感謝申し上げます。

また、弊社の起業までには、初代役員、創立発起人の皆様、事務局長であった故米井修氏の大変な御労苦があったと推察いたしております。

顧みますと、初代社長を務めた小生の父高尾昌明からは、当時、当地における観光をより発展させるために、温泉施設の必要性を感じその実現を熱望し、新事業に臨んだ並々ならぬ決意が感じられました。事業の長期計画から借入金の返済計画、長時間にわたる役員への人事の説得や地元自治体との契約、出資者の募集等々自らの体調の変化も顧みず奔走しておりました。私はその姿を間近で見えておりましたので、立ち上がり資金が不足しないためにと父から頼まれ、当時の高尾建設㈱も経営が苦しい中でしたが、しばらくの間5千万円を用立てることを快諾いたしました。

初代社長は平成11年10月6日午後から立山山麓温泉開発㈱の役員会があるが、少々体調が悪いので朝の内に医者へ行ってくると私に言い残して出かけ、そのまま帰らぬ人となりました。胸部の大動脈瘤破裂でした。配湯施設の竣工を見ることなく逝ってしまった無念さがあったことと思います。

同時に、初代社長の急死により、その後を担うこととなられた2代目社長の平本芳光氏の御労苦も如何ばかりであったかとお察しいたします。

そして、平成13年12月9日第5期定時株主総会において、私が考えてもいなかった突然の社長任命を申しつかりました。以来今まで至らぬ社長としてその職責を汚すこととなっております。これまで立山山麓温泉開発㈱を支えていただいている株主様をはじめ、役員各位のおかげで、平成25年度（第17期）決算までには各金融機関からの借入金を完済することが出来ました。ここに改めて感謝申し上げます。この上はしっかりと次期社長に引き継げる様一層の微力を尽くして参る所存です。

結びに、弊社の創立20年史発刊にあたり大変なご苦勞をされた平井専務をはじめ編集委員の皆様方、ご投稿を賜りました方々にかさねて感謝いたします。

どうか今後も弊社発展のために、倍旧のご協力とご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

創立20周年に寄せて



富山市長 森 雅 志

立山山麓温泉開発株式会社が創立20周年を迎えられましたことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

貴社は、立山山麓地域の旅館や民宿の皆さんの出資により地域活性化を目的に平成9年に創立され、平成10年に温泉の掘削に成功されました。その温泉は「美人の湯」として多くの観光客に親しまれており、地域の旅館、ホテルに配湯され、立山山麓地域の振興と発展に大きく貢献されております。

これも偏に、高尾代表取締役をはじめ関係の皆様方の長年にわたるご尽力の賜物と、深く敬意と感謝の意を表す次第です。

さて、近年、超高齢社会の進展や健康志向の高まりから、観光の目的として癒しや健康を求める人々が増えてきております。

立山山麓は、癒しの効果が認められた森林セラピー基地をはじめ、スキー場や多くの温泉を有する、本市の観光振興に重要な地域となっております。

温泉を楽しみに立山山麓を訪れる方々の期待に応えるためには、良質な温泉の安定的な供給が不可欠でありますことから、貴社におかれましては、今後ともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、立山山麓温泉開発株式会社の限りないご発展と、関係の皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



富山市観光協会

会 長 高 木 繁 雄

この度、創立20周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

立山山麓の活性化と観光客誘致を図るための、地元の旅館飲食店や地元自治会の皆様の並々ならぬご尽力により温泉の掘削に至り、翌年春には肌がつるつるになる泉質の湧出があり「美人の湯」として、宿泊客等には大変好評であると同っております。

この立山山麓においては、大自然を背景に夏山トレッキングや森林セラピー基地としての事業、また森の中に張ったワイヤーに滑車を使って滑り降りるジップライン立山、更に冬季にはスキー場として年間を通して自然を活用した魅力ある観光資源があります。

それらを利用した人々の疲れを癒す宿泊施設に源泉を配り、温泉の効果を十分に味わって頂くことも観光の大きな魅力となっており、観光客誘致に大いにご貢献頂いております。

また、富山県では1958年、2000年から20年ぶりの3回目の開催となる第75回国民体育大会冬季大会スキー競技が2020年に立山山麓で行われることが内定しており、今後ますます発展することを期待しております。

終わりになりますが、御社の今までのご功績に深く敬意を表しますと共に、今後の更なるご発展、ご繁栄を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

創立20周年にあたって



富山市南商工会

会 長 梅 本 良 男

このたび、立山山麓温泉開発株式会社が創立20周年を迎えられ、記念事業の一環として記念誌を刊行されますことを心からお慶び申し上げます。

御社を取り巻く富山市大山地区は、自然豊かな北アルプス立山連峰の麓「立山山麓」において薬師岳等の自然豊かな恵みを持ち、有峰ダムを拠点とした電源開発で大きく栄え、観光分野としても冬は立山山麓スキー場、冬以外の季節は薬師岳等の夏山登山、さらには立山黒部アルペンルートの玄関口としての大きな役割を担っています。

「立山山麓スキー場に温泉を。通年観光の強みとしたい」という関係者の強い信念と数々の苦難の末、平成9年7月「美人の湯：立山山麓温泉」が誕生されたことを傾聴いたしました。創立当初においては計り知れない喜びと活気に満ち溢れていたこととお察しいたします。

また温泉掘削事業の実現化以降は、温泉供給事業に欠かせない温泉供給契約者数の維持、安定した湯量供給など円滑な運営に邁進され、地域内における観光振興においても経済波及に効果をあげ、今日を迎えられたことと存じます。これもひとえに、御社代表をはじめとする役職員各位のたゆまぬ努力と熱意、観光振興へのご尽力の賜物と心より敬意を表します。

この20年の間、私たちの経済界を取り巻く環境は大きく変わり、めまぐるしいスピードで情報が飛び交い、社会・文化・経済はいとも簡単に国境を越える時代となりました。旅行形態での国内市場は、団体旅行からグループや少人数へとシフト。インバウンド市場においては団体旅行のみならず、個人的価値の多様化を満たすためのFIT（個人旅行）が増加傾向にあります。これはインターネット市場の普及により世界中の人々の暮らしが変化したように、観光業市場においても今や日常の必需品となったスマートフォンやタブレット端末での情報収集、SNSなどのアプリの普及が旅行形態を大きく変え、「その地でその感動を味わいたい」という需要を満たすためにWi-Fi環境をはじめとしたICTの利活用が観光地に求められるようになってまいりました。

今後はさらに少子高齢化社会の進行、後に国内の人口減少時代に突入すると予測され、業界はインバウンド事業への対応を余儀なくされていきます。富山県内においては2015年3月の北陸新幹線の開業により「陸」「空」「海」のインフラが整備、そして2020年東京オリンピック開催に向け、着々とグローバル化が進展してまいります。

今後も御社を取り巻く富山市立山山麓地域において、富山市南商工会と致しましても、これまで御社が築いてこられた確固たる基盤を大切に持続的発展をめざした観光振興への共存とさらなる前進、飛躍に期待していく所存であります。

終わりに、立山山麓温泉開発株式会社様の20周年記念事業の関係各位の多大なるご尽力に敬意を表し、御社の今後ますますのご発展をご祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶といたします。

祝 辞



大山観光開発株式会社

社 長 谷 村 豊 彦

このたび、立山山麓温泉開発株式会社が創立20周年を迎えられるにあたり、心からお慶び申し上げます。

さて、貴社は平成9年7月に設立されて以来、「美人の湯」として立山山麓地域の振興・発展に輝かしい功績を残され、ここに20周年記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことであり、今後の立山山麓地域の更なる飛躍につながるものと確信しております。

ご承知のとおり立山山麓地域は、薬師岳など立山連峰を有する中部山岳国立公園の麓に位置し、グリーンシーズンには恵まれた自然を活かした快適な自然散策やトレッキングなどができる遊歩道やオートキャンプ場、グラウンド、そして空中を鳥のように滑空するジップライン・アドベンチャー立山などが整備され、更に森林が持つ癒しの効果が実証された森林セラピー基地としても注目を浴びており、まさに県内有数のスポーツ・レクリエーション地域であります。

また冬季シーズンには、立山山麓スキー場としてスキー国体や全国高校総体、全国中学選手権など数多くの全国規模のスキー大会が開催される冬季スポーツのメッカとして繁栄してまいりました。

このような中、遡ること20年前、貴社は立山山麓地域の活性化策として、温泉開発に取り組まれ、幾多の困難を乗り越え温泉を整備されたことは、誠に有意義であり、立山山麓地域に大きな付加価値をもたらすとともに県何屈指のリゾート地になりました。

これも偏に、温泉開発に、地域の発展に強い思いを持つ地元関係の皆様や地元自治体のご尽力の賜であり、心から敬意を表します。

終わりに、創立20周年という記念すべき年を一つの節目として今後更なる発展と飛躍を遂げられますことを祈念いたしますとともに、関係各位のご健勝と今後ますますのご活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。

祝 辞



立山山麓観光旅館組合

組合長 高 尾 藤 弘

このたび、立山山麓温泉開発株式会社の創立20周年の記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌を刊行されましたことは、立山山麓の振興発展の上からも誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

近年は、地球温暖化による雪不足やレジャーの多様化等、観光地への影響も少なくありません。スキー場に温泉があるのも珍しいことでもありませんし、温泉掘削して一大観光地化を目指して20年の節目になり、この立山山麓も幾多の困難を乗り越え、厳しい時を迎えております。

また、2020年には冬季国体が開催されますので、選手や役員を温かくおもてなしをされ、立山山麓を全国に発信し、またアルペンルートの温泉地として、先人のご尽力に応えるためにも立山山麓温泉開発株式会社が、今後ますますの充実・発展され、活力に満ちた組織になりますよう祈念いたしまして祝辞とさせていただきます。

立山山麓温泉開発株式会社 歴代役員



初代 代表取締役社長
高尾昌明
(平成9年～平成11年)



二代目 代表取締役社長
平本芳光
(平成11年～平成13年)



三代目 代表取締役社長
高尾道明
(平成14年～現在)



専務取締役
平井建夫



常務取締役
石田勉



取締役
石田正己



取締役
平田昌邦



監査役
五十嶋博文



監査役
石本利勝

立山山麓温泉開発株式会社 発起人 (敬称略)



高尾 静 枝



平 本 芳 光



神 沢 幹 夫



舟 橋 清



平 井 建 夫



元 事務局長
米 井 修



現 事務局長
横 山 護



元 非常勤職員
岡 本 外喜男



現 非常勤職員
長 澤 正 臣